

取締役会の実効性に関する評価結果の概要

当社取締役会は、2022年9月期を評価対象期間とした、取締役会の実効性に関する評価を実施しましたので、その評価結果の概要をお知らせいたします。

1. 評価プロセス

取締役会の実効性等に関するアンケートを、2022年10月に監査等委員を含む全取締役6名を対象にウェブ方式で行い、回答を得ました。なお、実効性評価プロセスの客観性を高めるため、外部機関（みずほ信託銀行株式会社）からのアドバイスを得ながら実効性評価を実施いたしました。

対象期間	2022年9月期（2021年10月～2022年9月）
主な評価項目	① 取締役会の役割・機能 ② 取締役会の構成・規模 ③ 取締役会の運営 ④ 監査機関との連携 ⑤ 経営陣とのコミュニケーション ⑥ 株主・投資家との関係 ⑦ 総括
評価方法	アンケートの設問は昨年と同一であるが、最近のコーポレートガバナンスの動向を踏まえ、検討にあたっての評価のポイントを変更している。 匿名性を確保するため、アンケートは外部機関に直接回答。 外部機関が、集計・分析を行う。 分析結果により、取締役会で審議する。

2. 評価結果の概要

当社取締役会は、外部機関より得られた他社との評価結果との比較、前期の評価結果との比較を含むアンケートの分析を踏まえて審議を行った結果、以下の事項等から実効性は確保できているものと分析・評価しております。

- ① 取締役会メンバーのスキル、経験、知識、人数等を含めた取締役会全体としての適切なバランスが維持されている。

- ② 取締役会は、議論すべき議題が適切に議論された上で、決議・報告がなされている。社外取締役が要所で指摘し、執行側がそれに応えている。
- ③ 常勤の監査等委員である取締役が、グループ各社の状況を把握した上で、その他の社外取締役へ連携されている。業務執行取締役の監督・監査も、適切に行われている。

一方で、今後改善すべき点として主に以下の事項が挙げられました。

- A 中長期的な目線での議論（前回から継続）
- B 次期後継者計画の策定（前回から継続）
- C 株主や投資家等との対話とフィードバック
- D 経営戦略・ガバナンス体制等の投資家への伝達

3. 実効性向上に向けた取り組み

当社取締役会は、本評価結果について2023年9月期の取締役会の運営課題として対応してまいります。上記2.の改善すべき点の今後の対応策は以下の通りです。

- A 取締役会は、中期経営計画の策定が課題であるとの認識を共有し、議論を進めて参ります。
- B 後継者計画については、2022年10月に役員トレーニングのテーマとしておりますが、議論を深めるための取り組みを続けて参ります。
- C, D 投資家との対話を積極的に行うとともに、定期的に取り締役にフィードバックできる体制を整えて参ります。

今後も、取締役会の更なる実効性向上を図るべく今後も継続的に取締役会の自己評価を行うとともに、前年度の評価結果との比較分析を実施していく予定です。

以 上